

令和6年度第2回宮前区地域包括支援センター運営協議会 議事録

- 1 日時 令和7年2月27日（木） 10時～11時
- 2 場所 オンライン会議（宮前区役所4階 第2会議室）
- 3 出席者 行形会長 阿部副会長 山木委員 八廣委員 鈴木委員
榎本委員 梶山委員 朝倉委員
地域みまもり支援センター 大和田所長（福祉事務所長）
地域みまもり支援センター 津田副所長（保健所支所長）
地域みまもり支援センター 小林地域支援課長
（事務局） 地域みまもり支援センター 堺高齢・障害課長
高齢・障害課高齢者支援係 曾根係長、國西職員、高橋職員、金子職員

【事前配布資料】

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 資料1 | 宮前区課題整理シート |
| 資料2 | 宮前区高齢者虐待防止ワーキングチームについて |
| 資料3 | 宮前区相談支援・ケアマネジメント推進委員会による取組について |
| 資料4 | 災害時の在宅高齢者の支援について |

- 4 開会
- （1）開会挨拶（大和田福祉事務所長）
 - （2）運営協議会に関する了解事項等の確認
 - ・委員の過半数の出席により会の成立
 - ・傍聴人なし
 - ・録音の了承
 - （3）委員出席者紹介
 - （4）行政職員紹介

【行形会長挨拶】

鷺沼診療所の内科の行形と申します。私事で恐縮ですが、今期をもって在宅の担当を外れることになった。来年度から新しい医師会のメンバーで始めることになると思うので今回最後になるが、よろしくお願いします。

以前から申し上げているが、災害と地域包括ケアシステムというのは表裏一体の関係のため、普段からこの地域包括支援センターと密なコンタクトを取ることで災害時も十

分に対応できるだろうと考えている。

阿部先生を始め、長年一緒に運営協議会に参加しているが、できるだけ皆さんから全員のご意見を聞きたいと思っているためよろしくお願いします。

5 運営協議会議事（進行：堺課長）

（１）宮前区の課題への取組状況について

①宮前区課題整理シートについて

（金子職員）＊資料１に基づき説明

②高齢者虐待ワーキングチームによる研修報告

（高橋職員）＊資料２に基づき説明

③宮前区相談支援・ケアマネジメント推進委員会による取組について

（國西職員）＊資料３に基づき説明

④災害時の在宅高齢者の支援について

（曾根係長）＊資料４に基づき説明

審議（進行：行形会長会長）

行形会長：資料１について項目を大きく５項目に分けていただいたが、この項目に関してどなたかご質問、ご意見など審議の内容に新たに加えた方がいいものがあればご発言願いたい。

朝倉委員：宮前区の課題整理シートの見直しのタイミングは昨年の年度末（２月位）にされているのか。

曾根係長：宮前区の課題整理シートについては、各包括から新年度の業務計画が出されて取りまとめて作っている。

朝倉委員：課題整理シートについて、ここでの審議は行うのか。そもそもこの課題シートが正しいのかどうか、これでいいのかどうかという問題があるのではないか。これに基づいてご報告いただくのは、蓄積があるのでそれはそれでいいが、そもそもこの課題シートそのものの審議を我々はしなくて良いのか。

堺課長：今のご質問の内容は、各包括が考えている課題を取りまとめてこのシートに落としこんでいるが、包括が考えている課題自体が正しいかどうかということか。

朝倉委員：そうではなく、包括は包括でもそれはそれでやってくださいと思うが、そこに区と市への要望が書かれている。そこを我々が審議しなくていいのか。

堺課長：この件については、第１回でこの課題シートを一度提示しているが。

朝倉委員：しかし第１回目にそういう話題になっていないのではないか。１時間という時間でこれをやるのは結構大変なことだと思っている。私は、前年度、第９期かわさきいきいき長寿プラン作成の時に市の運営協議会委員をやっていたが、市でも２時間かけて審議し、それ以外に臨時で分科会を何度もやって積み上げていた。区の前回の運営協議会では審議をしたという感覚がない。資料として示されたのはわかるが、委員の皆さんがこの課題シートの課題の捉え方でいいのかということを了承した上で次の話にしているのかが捉えられなかったため、あえてお尋ねしている。

行形会長：今までもこの運営協議会をやってきており、私も医師会の会合も含めて会議に出席しているが、この整理シートを作る前段階に関わるのは市の職員でないため物理的に難しい。このため区の職員の方がたたき台として作っている中で議論することとなる。委員がおっしゃるように２時間、３時間かければ内容は濃くなるのはわかるが。私もこの資料１を見て、例えば２番の包括的相談支援の強化で１と３の高齢者虐待ケースへの対応強化とケアマネジャーの支援を集中的に話されていたが、この中でおそらく一番問題なのは８０５０問題と思っている。高齢者への虐待や、ケアマネジャーの手を煩わせているのは、本丸はここだと思って聞いていた。ただ、このあげてもらった課題の中で、できる範囲で議論するしかない。委員のおっしゃることは非常によくわかる。これがそもそも議題としてプライオリティをもってこの順番で並んでいていいのかということはある。しかしそれを言うとおそらく今のこの決められた時間の中での議論にならないかもしれない。

朝倉委員：そこは会長がおっしゃる通りだと思う。あえてそこは申し上げた。

行形会長：委員のおっしゃっているのは誠に正論と思う。ただ、今までこういう経緯の中でやってきて委員のようにここは変えた方がいいからもう少し時間を長くしようという意見が出なかった。それでこの流れの中で今回行っている。

朝倉委員：わかりました。それであれば区の方でたたき台を作る時にもう少し注意をし

ていただきたい点がある。優先課題それぞれにデータや実際の事実を書かれており、そこに対する取組の実行は本当に全部取組ができるとは思っていないが、もう少し考えて作った方がいいのではないか。この資料全体を拝見した時にそう思ったが、区の方には苦言を呈したいと思う。例えば宮前区にはマンションが多いが、そのマンションの住人達とのつながりをどうするのか。公営住宅の話は書いてあるが、他区にはその課題が書かれてる課題整理シートもある。そこに問題意識があれば記載があるはずだと思うことが書かれてないことが少し不満と申し上げたい。あとは区にお任せしたいと思うのでよろしくをお願いします。

行形会長：非常に正論でまともな意見だと思うが、今申し上げたようになかなか限られた時間の中となり、おそらく作成するのもかなり時間をかけてると思う。他区を取組がどうかとして議論されていた時期もあるが、最近は時間も短いためそこまで質問される委員が少ない。

今の委員のご質問とは別だが、私から課題整理シートの4番、高齢者が暮らしやすい地域づくりに向けた取組のところで公営団地の複合的な課題について聞きたい。これは非常にいい所に目をつけていると思うが、実は公営団地では今外国人がだいぶ入り込んでいて、この外国人をほったらかしにしておくと川口市のクルド人問題のように発展する可能性が川崎市でも高いのではないかと見ている。というのも、日本語も話せない、母国語は話せるが、英語がなかなか難しい方がいる。うちの診療所では英語さえ話せれば診察できるが、英語ができないと何を言っているのかわからず残念ながら診察できないというケースもある。この高齢者が暮らしやすいというところで括弧して外国籍の方もっていうのを加えていただいたらいかがかなと思う。区の担当者の方、いかがでしょうか。

曾根係長：昨年度も行形会長から同様のご意見をいただき、その時に各公営住宅で外国人の方の高齢者の人口とかが調べられたらという話があった。統計としては区内にどれだけの外国籍の方がいてそれぞれどこの国の出身かという統計はあるが、各公営住宅について外国籍の方が何世帯、何人入っているという統計はなかった。その中で今、宮前区の外国人住民の年齢別人口統計を見ているが、令和6年6月末時点での65歳以上の方の外国籍の方の人口が278名いる。区全体のため、この内のどれだけが公営住宅に住んでいるのか判明しないので、公営住宅の中でどれだけ外国籍高齢者の方の問題が起きているのかというのは統計からは、はっきりとしたことが言えない。このため課題整理シートに載せるかというのは今後の課題になってくると思われる。曖昧な発言となるが、このような回答になる。

行形会長：ありがとうございます。やがては必ず今のペースで外国の方が増えてくると

思われる。ドイツの二の舞を踏まないように、色々事例を参考にしながらいかに外国人達を阻害しないかという事で対応されていかれた方がいいかなと思い発言した。

資料1で、他に何かご質問ある委員の方いらっしゃるか。阿部先生、大丈夫でしょうか。

阿部：大丈夫です。

行形会長：では、資料2について、どなたか委員の方でご質問ご発言のある方いらっしゃいましたらどうぞ。ここは鈴木恵子さん、いかがでしょうか。

鈴木：虐待については、問題が深すぎて私達もちょっと手がつけられないというか、虐待を見つけてもどうしたらいいのか、まだ全く解決策もなければ難しすぎる。地域としては見つけても、それをどこの誰に持ってたらいいいのかっていうのがわからない状態が続いている。

行形会長：ありがとうございます。個人的な意見で非常に恐縮だが、高齢者の虐待の問題っていうのは基本的に子どもの頃、親が子どもをどう育てたかというのが非常に重要になってくる話のため、今鈴木委員から話が深すぎてというのは正にその通りだと思う。このメンバーでこの時間で議論するのも課題が重すぎるが、ちゃんとこういうことに関してみんなが意識を持ってるということはすばらしいことだと思う。

続いて資料3に関してどなたか委員の方でご質問ある方いらっしゃったらどうぞ。まだご発言されていない委員の方、ぜひ資料3、資料4のところで何かご発言願いたい。

行形会長：質問等ないようだが、資料4の方で先程曽根さんの方からお話いただいたが、宮前区に地域包括支援センターが7つあるが、なぜ4つだけ紹介して残りの3つの紹介がないのか。

曽根係長：今回、相談支援ケアマネジメント調整会議や圏域会議として今年度のテーマとして防災を扱った包括を取り上げている。他の包括は昨年度行ったり、その年度ごとにテーマが違っているため、数が全包括ではないということになる。

行形会長：わかりました。ありがとうございます。それから宮前区のみやまへの会の取組だが、今回初めてわかったのはこういう多職種連携に災害というキーワードを入れると意見が白熱した上に人が集まるということがわかった。区の担当の皆さんも今後、この災害をキーワードに色んな取組をやって、こういう多職種連携のメンバーを増やしていくことをご協力いただきたいと思います。

特にご質問がないようでしたら、このまま事務局へお返しする。

堺課長：行形会長、ありがとうございました。委員の皆様におかれましても本日は貴重なご意見を多くいただき誠にありがとうございました。

令和7年度の協議会については、第1回は令和7年9月25日（木）14時、第2回は令和8年3月5日（木）14時を予定している。開催についてはまた通知等でお知らせする。

それでは、これもちまして令和6年度第2回宮前区地域包括支援センター運営協議会を閉会とさせていただく。ご協力ありがとうございました。